

令和元年度 後期	も	の	づ	く	り	人	材	育	成	研	修
-------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

山梨県産業技術センターでは、本県の製造業における高度技術者の育成を支援するため、広範囲な技術分野について基礎から応用まで学ぶことができる「ものづくり人材育成研修」を実施いたします。多数のご参加をお待ちしております。当センターのホームページ(<https://pref.yamanashi.jp/yitc/>)もご参照ください。

### 申込方法

- ・裏面の「申し込み方法」に従い、山梨県電子申請サービス(Web申請)からお申し込み下さい。
- ・申込締切は開催日の一週間前とします。  
締切後でも定員に余裕がある場合には受付を継続することがあります。  
また受講定員を超えた場合は、多くの企業の方にご参加いただけるよう調整いたしますので、ご了承下さい。

### 受講料

- ・座学の講座は、無料です。
- ・実習を行う講座(☆印)の受講料は、3,000円です。

### 問合せ先

山梨県産業技術センター 企画連携推進部 企画・情報科 山田、宮川、佐藤  
(〒400-0055 甲府市大津町2094 TEL:055-243-6111 FAX:055-243-6110)

後期日程 (※ 会場は、講座によって異なり、甲府技術支援センターと富士技術支援センターがあります)

番号	講座・講師	開催日	内容	定員	QRコード
<b>開催場所：甲府技術支援センター（甲府市大津町2094）</b>					
① 測定 実習 (甲府)	測定実習で深める幾何公差の理解(甲府) 客員研究員 中村 哲夫、センター職員		三次元座標測定機を用いた測定実習ならびに定盤を とした測定実習をとおし、平面度・直角度など各幾 差の意味合いについて理解を深めていただきま す。 <b>終了しました</b>	座学・実習 10名程度 ☆ 3,000円	
② 破断 (甲府)	金属材料の破断面解析の基礎と解析事例(甲府) (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 機械システム安全研究グループ 山際 謙太 氏	10月8日(火) 13:30~16:30	金属部品などに破壊が生じた時、破断面を目視や電 子顕微鏡等で観察し、その形態から破壊原因を推定し ます。しかし、その破壊機構は多岐にわたっており、経 験・技術・知識が必要です。今回は、破面の特徴を解 説するとともに、基本的な破断面解析技術の習得を目 的とします。	座学 30名程度	
③ タップ (甲府)	最新のタップ加工技術とその実演(甲府) オーエスジー(株) カスタマーサポートグループ 大島 英司 氏	10月17日(木) 13:30~17:00	切削加工においてある種一番難しいと言われるタップ 加工を、工具面・技術面の両面からアプローチし、実 演を交えて詳しく、分かり易くご紹介します。	座学・実習 10名程度 ☆ 3,000円	
④ 品質 (甲府)	やさしい品質管理(甲府) 客員研究員 神藤 典一	10月29日(火) 14:00~16:00	製品開発における品質管理について、手法や進め方 など基礎から分かりやすく解説します。	座学 30名程度	
⑤ 音・ 振動 (甲府)	音・振動の周波数分析の基礎(甲府) リオン株式会社	11月6日(水) 13:00~17:00	機器から発生する音や振動の計測結果を周波数分析 することによって、機器の状態を確認したり、製品設計 や品質管理に活用することができます。 本講座では、音・振動の評価に有効な分析手法(FFT 解析・オクターブ解析)の基礎知識、測定結果の解析 手法について学びます。	座学・実習 5名程度 ☆ 3,000円	
⑥ MZ (甲府)	MZプラットフォーム基礎編(甲府) (国研)産業技術総合研究所 製造技術研究部門 研究グループ長 古川 慈之 氏	11月13日(水) 9:00~16:00	MZプラットフォームは、産総研で開発された生産性向 上のためのIT/IoTシステム構築のソフトウェアツール です。本講座では、コンポーネントの構築方法を学び ます。 紹介セミナーを既に受講された方が対象です。 また、MZプラットフォームインストール済みPCの持参 が必要です。	座学 5名程度	
<b>開催場所：富士技術支援センター（富士吉田市下吉田6-16-2）</b>					
⑦ 材料 強度 (富士)	材料の強度試験の基礎(富士) センター職員	10月16日(水) 13:30~16:30	材料特性を理解するうえで様々な材料試験が行われ ます。本講座では、硬さ試験や引張試験などを通じ て、材料試験の基礎について学びます。	実習 5名程度 ☆ 3,000円	
⑧ 図面 演習 (富士)	ものづくりにおける幾何公差 —図面演習による理解—(富士) 客員研究員 中村 哲夫、センター職員	11月7日(木) 13:00~17:00	本講座では、設計課題に対する幾何公差の理解を深 めることを目的として、要求された部品機能を実現す るためのデータおよび幾何公差の意味を学び、正しい 図面記載方法および幾何公差の選択について演習形 式にて学びます。	実習 6名程度 ☆ 3,000円	

## 申込方法

### はじめに

講座への申込みは「やまなしくらしねっと山梨県電子申請サービス」により行います。

※ 当該サービスの利用におけるトラブルは、コールセンターへお問い合わせください。  
（固定電話:0120-464-119 [フリーダイヤル]、携帯電話:0570-041-001 [有料]）

### 注意事項

<注1>有料の講座(☆印)を受講した場合の支払いは納入通知書による納付となります。

納入通知書は、すべての講座終了後に郵送します。(11月末~12月頃を予定)

<注2>申込みは各講座ごとの手続きが必要です。複数講座を申し込む場合は、あらかじめ利用者登録を行うと法人名など一部の入力を省略でき、便利です。

### 申込方法

#### 1. アクセス方法

URLから電子申請サービスへアクセス(<https://s-kantan.jp/pref-yamanashi-u/>)し、受講希望講座をクリック。

※見つからない場合は検索フォームから”ものづくり”で検索

※スマートフォンの場合は、1ページ目に記載のQRコードから講座ページへ直接アクセス可能。

#### 2. 手続き名を確認し、AまたはBのいずれかの方法を選択。<注2>

##### A. 利用者登録しない場合

- ・「利用者登録せずに申し込む方はこちら」をクリック。
- ・3へ進み、申込みを続ける。

##### B. 利用者登録する場合(複数講座の申込み時に便利)

- ・「利用者登録される方はこちら」をクリックし、次ページで「同意する」をクリック。
- ・法人を選択し、申請者(本人)のメールアドレスを入力後、「登録する」をクリック(図参照)。
- ・受信メールに記載のURLへアクセスし、詳細情報を入力して登録。
- ・再度、講座ページへアクセスし、利用者ID・パスワードを入力してログイン。
- ・3へ進み、申込みを続ける。

利用者区分※	<input type="radio"/> 個人 <input checked="" type="radio"/> 法人 <input type="radio"/> 代理人
利用者ID(メールアドレス)※	test@○○.co.jp
利用者ID(確認用)※	

3. 「同意する」をクリックし、申し込みフォーム画面へ移動。

4. 申し込みフォーム画面へ必要事項を入力(※印の項目は入力必須)。

5. 必要事項を入力したら「確認へ進む」をクリック。

6. 入力内容を確認し、誤りがなければ「申し込む」をクリック。

※ 入力内容に不備がある場合は、自動的に修正ページへ移動します。

7. 申し込み完了画面に“整理番号”と“パスワード”が表示され、申し込み完了メールが送信されます。

※ 完了通知メールの題名は、「【申込完了通知メール】やまなしくらしねっと」です。

※ 整理番号とパスワードは申込状況の確認に必要です。忘れないよう保管してください。

以上で申し込みは完了です。

【※】当センターHP([https://pref.yamanashi.jp/yitc/documents/r01jinzaiikusei\\_koki\\_syosai.pdf](https://pref.yamanashi.jp/yitc/documents/r01jinzaiikusei_koki_syosai.pdf))にも申し込み方法の詳細を掲載していますので、ご参照ください。